



またかた 社協だより

よろこび多いまちづくり

vol.30

平成26年
2月1日号

「おもちゃ図書館にいらっしゃーい!!!」



～広々とした室内で思いきり遊ぼう!!～
～保護者の皆さんの情報交換に...～



喜多方市社会福祉協議会 おもちゃ図書館

本所
(喜多方)

場所：喜多方市総合福祉センター
日時：毎週金曜日、第1・3火曜日
午前 9:30 ～ 11:30

熱塩加納
支所

場所：保健福祉センター夢の森
日時：毎月第2火曜日
午前 9:30 ～ 11:30

塩川支所

場所：保健福祉センターいきいきセンター
日時：毎週金曜日、第1・3火曜日
午前 10:00 ～ 11:30

山都支所

場所：山都保健センター
日時：月1～2回（お問合せください）
午前 9:30 ～ 11:30

高郷支所

場所：カイギウランドたかさと
日時：毎月第1・3木曜日
午前 10:00 ～ 11:30

※おもちゃや遊具で自由に遊ぶことができます。
※利用料無料、申込不要、どの会場でも利用できます。

● おもな内容 ●

- 第9回喜多方市社会福祉大会 2
- 表彰者・児童・生徒の福祉作文 3・4・5
- ふれあいだより 6
- よらんしょネット 8
- 共同募金、歳末たすけあい実績報告 9
- 寄付報告 11

第9回喜多方市社会福祉大会

11月21日（木）に開催をいたしました

第9回喜多方市社会福祉大会には、御来賓をはじめ、関係者、市民の皆様合わせて550名のご参加を頂き、席上では社会福祉に功績のあった1団体、3名の方々の表彰を行い、また共同募金関係表彰の伝達とふれあい社会福祉講座修了証の交付をあわせて行い、盛会裏に終えることができました。

これもひとえに、関係機関・福祉団体さらには実行委員の方々と並びに市民皆様のご協力によるものであり、あらためて御礼を申し上げます。

また、式典終了後に行われた記念講演では、エッセイストとして幅広く活躍をされている海老名香葉子氏をお招きし、



「泣いて笑ってがんばって」と題し東日本震災以降、風評被害に見舞われている本市の皆様、笑いと元気を届けていただきました。

【社会福祉大会会長表彰】

福島県立耶麻農業高等学校様

【社会福祉協議会会長感謝】

唐橋 秀子様
山本 豪様
渡部 サイ様

【福島県共同募金会長感謝】

計 19名、30団体

【ふれあい社会福祉講座修了証交付】

計 53名

【福祉作文発表選考者】

○小学生の部

第二小学校 6年 鈴木 優陽さん
第二小学校 6年 伊豆野奈南さん
慶徳小学校 6年 齋藤 彩音さん

○中学生の部

会北中学校 2年 小林 明夏さん
会北中学校 2年 宮内 陽来さん

社協の地域福祉事業は皆様の会費で支えられています。

喜多方市社会福祉協議会は「誰もが安心して暮らせる福祉社会」を目指して、地域福祉活動を推進しています。

その活動の財源となっているのが、皆様からご賛同を頂いている会費であり、住民同士の支えあい活動に役立てられています。

会費には、一般会員会費と賛助会員会費があり、一般会員会費については町内会・行政区を通じて納入にご協力を頂いており、賛助会員会費については、個人、法人の皆様へ振込用紙を送付させて頂き、納入頂いております。

平成24年度会員加入状況について

区 分	納入実績額
一般会員会費	7,948,800円
賛助会費	1,460,000円
計	9,408,800円

※会費の使途について

皆様からご協力いただいております会員会費は、「誰もが安心して暮らせる福祉社会」の実現を目指し、地域の福祉向上のための様々な事業に活用させて頂いております。

◆地域に密着した事業に

心配ごと相談、社会福祉大会、ふれあい福祉講座、在宅介護教室の開催、福祉団体の支援

◆子育て支援に

おもちゃ図書館等子どもの健全な育成とお母さんの子育て相談

◆高齢者等に関する事業に

ふれあいいきいきサロンや陶芸教室事業の推進

◆ボランティア事業の推進に

児童生徒のボランティア教育、ボランティア活動、更には災害や除雪ボランティアの推進

等

平成25年度喜多方市表彰 第67回福島県社会福祉大会表彰

本年度の喜多方市表彰並びに第67回福島県社会福祉大会において、喜多方市社会福祉協議会の関係者の皆さんが、それぞれの功劳・功績により受賞されました。

《平成25年度喜多方市功労者表彰》

○社会福祉・保健衛生功労

星 陽子 様 (社協理事)

《第67回福島県社会福祉大会表彰》

○県社会福祉大会会長表彰

塚原 正道 様 (民生児童委員)

渡部 文雄 様 (民生児童委員)

また、本協議会職員6名も永年勤続により表彰されました。

おめでとうございます!



児童生徒の福祉作文 「ちいさなて」 優秀作品のご紹介

喜多方市社会福祉協議会では、市内全ての小中学校を「ボランティア協力指定校」として指定し、次世代を担う児童・生徒の皆さんが、社会福祉への理解と関心を高め、ボランティア精神を育むための「ボランティア普及事業」を実施しています。

ボランティア協力指定校では、各学校ごとに特色のあるボランティア活動・福祉活動に取り組んでいただいています。

本協議会では、こうした学校でのボランティア活動・福祉活動や、地域や家庭でのボランティア体験、福祉社会に関して日頃から感じていることなどをまとめた福祉作文を文集として発行し、社会福祉大会で来場者に配布するとともに、優秀作品について発表いただきます。

以下の作品5点は、平成25年度の優秀作品として選考され、11月21日に開催した「第9回社会福祉大会」の席上で発表されたものです。

みんなのために

第二小学校

6年 鈴木 優陽



「優陽ちゃん、ボランティア行こう。」

毎週金曜日の朝は、私のクラスが、校舎内をそうじするボランティア活動の日です。第二小学校のボランティア活動は、昔から何十年も続いているそうです。

はじめのうちは、はりきって行っていたボランティア活動ですが、一学期のころになると、その気持ちが半減し、なかなか自分から進んでできなくなりました。

金曜日は、少し早めに登校して活動を行わなければなりません。月日がたつにつれ、登校時間が遅くなってきました。それでもしぶしぶ活動場所へ行くと、一緒にそうじするはずの友達来ていない日も多くなってきました。「私だけやって」と、心の中でつぶやきながら、適当にほうきを動かす日々が続きました。

そんなある日、いつものように少し遅れて担当場所に行き、友達とおしゃべりしながらはきそうじをしていると、ある先生が、「いつもおそうじありがとう。六年生のおかげで朝がとても気持ちがいいよ。」と、声をかけてくれたのです。私はその先生に軽くおじぎをしながら、とてもはにかしい気持ちでいっぱいになりました。私にはそんなお礼を言われる資格はないと思うのです。ほめられるのは、他の場所です。一生懸命やっている友達なのです。六年生と

して、どんな気持ちでボランティア活動をしていけばよいのか、私は深く反省しました。

夏休みが終わり、二学期が始まりました。ひさしぶりに見る学校は、なんだかほこりだらけで、一学期に比べてとても暗い感じがしました。一番驚いたのは花壇です。雑草がたくさん生いじり、たくさんのお花が咲いていました。次の日の朝、私は友達と一緒に草取りを始めました。なかなか取れない草でしたが、あきらめることなく少しずつとっていきました。日に日に手伝ってくれる友達が増え、取った草の量も増えていきました。陽にあたる花壇の花たちが、とても喜んでるように思えました。たくさん先生方にも励まされたり、ほめられたりして、暑い中での作業でも、決してつらいとは思いませんでした。

朝のボランティア活動にも気合いが入るようになりました。朝早く起きて登校できるようにになり、自分でも不思議なくらいでした。あんなに暗く感じた校舎内が、とても輝いて明るく見えるようになっていました。来校されたお客様が、「きれいな学校ですね。」

と、先生方に話されるのを聞くと、とてもうれしくなり、私は、改めてボランティアとは、自分の都合ではなく、みんなのためにするものなのだと思います。

私は今、みんなのためにという活動をこれからも続け、第二小学校をますます明るくて楽しい学校にしていきたいと思っています。

人を幸せにするあいさつ

第二小学校

6年 伊豆野奈南



「おはようございます。」

校門で今日も生活委員の人たちが、元気にあいさつしている。私は正直、そのあいさつをしている校門が大の苦手、というより、あいさつをすること自体が苦手だ、あいさつしなきゃ、でもはずかしいなあ。そう考えているうちに生活委員の人にあいさつされた。

「おつ、おはようございます。」

ああ、もう。またこれだ。緊張しているから、どうしても声が小さくなってしまつ。今日のあいさつは、二十点、朝のあいさつに自分で点数をつけると、五十点以上つけたことがない。生活委員の人たちのあいさつ運動は、私達が明るく一日が始められるようにと取り組んでいる委員会活動だ。この

ような委員会活動の他にも、私たち六年生が取り組んでいる昇降口や階段を清掃する朝のボランティア清掃、今年から始まった近くに住んでいる一年生と一緒に学校に連れてくる活動、夏休み明けに行った全校生による花だんの草むしりなど、校内には、自分以外の人のための活動、つまりボランティア活動と言えそうなものはとても多い。人から頼りにされ、ありがとつという言葉を聞くととてもうれしい。でもそれが六年生として、当たり前の姿なのかもしれないけれど、あまり数が多いと、正直ちょっと大

変だと感じていた。そんなある朝

「おはようございます。」

一緒に来ている一年生の元気な声に思わず笑顔になった。すてきな笑顔だった。その頃の私は、少し友達のことでも落ち込んでいたから、その笑顔がうれしくて、勇気をもらった気がした。たった一つの言葉が、こんなに自分を勇気づけてくれるなんてすごいと思った。私も、生活委員の人に自分からあいさつしたら、喜んでくれるのかな。今日は、自分からあいさつしてみようかな。そう思っている自分に、少しびっくりしていた。

今日も校門で生活委員会の人たちが、元気にあいさつしている。少し深呼吸してから、一年生と手をつないで校門に向かった。今日は大きな声で言えそうな気がした。いつしか、一年生の手を強くにぎっていた。

「おはようございます。」

言えた。大きな声だった。それも生活委員の人たちよりも先にあいさつができた。となりの一年生や生活委員の人たちも笑顔になった。一番びっくりしていたのは自分だった。そして、あいさつができた後、私も笑顔になった。とても気持ちよかった。その日は、一日中いい気分だった。

あいさつのやりとりって、すてきななあ。

元気なあいさつを交わせば交わすほど、笑顔が増えてくる。心をこめたあいさつをする、心のこもったあいさつが返ってくる。人のためになることをすれば、いずれは自分に返ってくる。みんなのやさしい気持ちでこの喜多方を幸せいっぱいにするの街にできたらいいな。

私の考えるボランティア

慶徳小学校

6年 齋藤 彩音



私は、今までボランティアについて深く考えたことはありませんでした。しかし、五年生の総合の時間に福祉について考えることになりました。私の住む慶徳町にも福祉施設があります。私の家にも祖父母がいますが、そういったおじいさん、おばあさんがどうして福祉施設に来るのか分かりませんでした。そこで、見学に行き調べることになりました。その時、おじいさんおばあさんが喜んでくれることは何かをみんなで考え、一緒に遊んだり、一緒に歌を歌ったりすることに決めました。私達のことを覚えていてほしかったので、長生きしてもらえるように明るい色できれいに百一羽鶴を作りました。

当日、みんなでお手玉をやったり、折り紙を折ったりして遊びました。歌も昔からある日本の歌と一緒に楽しく歌いました。最後には、百一羽鶴を渡し、おじいさんおばあさんのニコニコと優しい顔を見ることができました。笑顔で最後まで見送ってくれ、私もうれしくなりました。この経験でボランティアとは、相手のことを思いやり行動することで、自分もうれしくなるものだと感じました。

六年生になり、最高学年になったためにいろいろな行事の準備や進行、片付けをする機会が増えました。今までは、準備してある所に行き、終わったら帰ってくるだけだったのに、今では下級生が動けるように考えて準備や計画を立てなければなりません。

委員会活動では、もちろん委員長に立候補して、会を進めています。図書委員会では、お昼の貸し出しの当番を忘れないように下級生に呼びかけをしています。そうすることによって委員会の活動がスムーズにできるようになると思うからです。

朝の集いの時には、終わりの言葉の後、下級生が退場を始めると、私たちは反対方向に動き始めます。机を元に戻したり、窓を閉めたり、電気を消したりするためです。こういう活動は、先生に言われてから動くよりは、自分達で進んで動いた方が気持ちがいいです。だから毎回自分で動くようにしています。六年生が会を準備したり、片付けたりする姿を下級生に見せたら、下級生はきつとそれをまねしてくれると思います。これは学校のいい伝統として引き継いでもらいたいです。

私の考えるボランティアは、相手のことを思いやる気もちだと思っています。相手を思い行動することによって、自分もあたたかい気持ちになります。そして、進んで行動する姿は他の人にもえいきょうを与え、周りの人にも広がっていくものだと思います。

私のボランティアの気もちが少しでも広がって住みやすい世の中になってほしいと願っています。

やさしさと笑顔



会北中学校

2年 小林 明夏

私は、今回地域のボランティアの活動をして思ったことが二つあります。

一つ目は、車いすに乗って生活することです。私は、活動の中でグループホームに行つて、車いすに乗る体験をしました。乗る前は、「車いすくらい簡単に乗れる」と思っていました。でも、実際はちがいました。自分で動くには、横についているタイヤを手で押さなければなりません。思っている以上に、座りながら自分の手で押すということが難しくて驚きました。曲がる時も、自分の思うように進んでくれないで大変でした。でも、普段から車いすに乗っている人は、自分で動いてあたりまえなんだと思うと、「すごい」と思いました。そして、それと同時に車いすに乗っている人たちの大変さがすごく分かりました。私たちが思っているよりも車いすに乗っている人はとても大変なのです。だから、困っている人がいたら、私たちが助けるということが大切だと思います。そのやさしさが大事なんだと思います。

の方と話す時は、「絶対に笑顔を忘れてはいけない」と思って、直前まで緊張していましたが、いざお年寄りの方と話してみるとすごく楽しくて気づかないうちに自然と笑っていました。その後は、紙しほいをしたり、一緒に歌を歌ったりといろんなことをして遊びました。いつの間にか緊張などどこかへ消えてしまい、友達と話しているかのように気やすく話せるようになっていて、自分でも驚きました。私が笑っていればお年寄りの方も笑ってくださる。私は、自分自身が楽しまいと相手も楽しむことが出来ないんだということに気づきました。そう考えたら、「私は、今すごく楽しんでいる。だからお年寄りの方もこんなに楽しそうなんだ」と思い、すごく嬉しくなりました。この「笑顔のパワー」はすごいものなんだということが分かって良かったと思います。

私は、地域のボランティアに参加できて、本当に良かったです。めったにない体験ができていろんなことを学ぶことができました。この体験をする前は、体が不自由な人がいてもその人たちの大変さを、考えてもみなかったのですが、今回の体験を通じて、分かった大変さを考えながら体の不自由な人と接したいと思います。そして、もしも困っている人がいたら、やさしく声をかけられるように、何事も自分が楽しんで取り組み、笑顔を大切にできる大人になれるように、今回の経験を後に活かして、やさしさと笑顔を忘れな

ボランティアのありがたさ



会北中学校

2年 宮内 陽来

私の住む喜多方市熱塩地区では、今までにない豪雨が区内をおそいました。

私の家は床上まで水が入ってきたために母の実家にいきました。テレビをふとつけてみました。すると被害を受けた私の家と父がうつされており、あらためて被害の大きさに驚きました。

三日目になりやっと家についてみると家のまわりには土砂が山のようにあり、歩いてみると、床上五センチはあるようで、歩く度にぬかっっていました。

しかし、少しずつ時間がたつていくと、どんどん親せきの人たちが集まって来てくれました。最終的には三十人以上集まり一日中土砂片付けをしました。

最初見た時は、これからのことがけんとうもつかなかったけれど、色々な人達の手でどんどんきれいに土砂が片付いていきました。

四日後、五日後と日が過ぎると、色々な人が手伝いに来てくれました。東京からのいとことその母、学校の先生方、中学校の野球部、中学生のボランティア、社会福祉協議会の方々などこんなにも多くの人達の手伝いを受けて私は、「人への思いやり」ってすごいなあと思う感動しました。この人達へどんなに感謝すればいいのかわからないくらい、本当に私

達にとっては大きな手助けになりました。ボランティアの方々には、「がんばってね」とか、「気をおとさず、大丈夫。」とか色々はげましのことをいただきました。本当に心の支えにもなりました。

今回の水害を体験して、私はふと頭の中でよくがよみがえってきました。東日本大震災のことを。「ああ、震災で被災した人達はこんなにもつらく苦しいおもいをしたのか。」と心の中で深く考えました。私はこの体験でひさいした人達とちかい体験をして、とてもつらく苦しいことを自分自身で感じる事ができました。この気持ちを忘れずに、これからは人のためになることやボランティア活動に積極的に取り組んでいきたいです。特に地域ボランティアに力を入れていく会北中学校ならではのボランティア運動を行っていききたいです。そして、色々な人達のまんめんの笑顔を見たいです。これからは今まで以上に人に感謝することとを大事にしていきたいです。人に何かしてもらったことをあたりまえとは思えずに、その人の優しさを感じとれる人間になりたいです。そして、今回私の家にボランティアで助けてくれたみなさんへ、『ありがと』と私は日々思っています。





喜多方地区 「万一の災害に備えて」

11月12日(火)にセンターを利用されていた皆さん、ふれあいの家の皆さんの協力により、本協議会職員が主体となった、喜多方市総合福祉センターの避難訓練を実施しました。

万一の災害に備え、万全の体制で安心してセンターを利用していただけるよう、定期的な訓練を重ねています。



新そば味わい世代間交流開催

熱塩加納地区



12月1日(土)恒例となりました熱塩加納町のふれあい福祉協議会主催による「新そば味わい世代間交流」が開催され、一人暮らし高齢者や未就園児、民生児童委員など、総勢70人を超える大勢の参加をいただきました。美味しいそばを舌鼓を打ちながら「来年も楽しみにしてるから…」との声があがる中で賑やかなひとときを過ごされました。

塩川地区

塩川地区ふれあい福祉協議会・サロン世話人合同研修会 ～12月2日(月)矢吹町社協「サロン支援隊 茶・茶・茶」との交流会!!～

矢吹町では、いきいきサロン事業を支援する組織があり、毎月4人程が各地域の活動日に出向き、レクリエーションや文書作成等の手助けを行い、高齢者が多くとも継続して事業がおこなっていただけるように支援しているとの説明を受けました。

また、実際におこなっているレクリエーション活動の紹介もいただき、じゃがいもを用紙に書かれた○印の中へ入れる「じゃがいもパターゴルフ」や「浦島太郎」と「兎とカメ」の歌を交互に輪唱するゲームなどを体験してきました。



季節の「旬」を味わおう

山都地区



11月6日(水)、山都支所で実施しているおもちゃ図書館で、秋の旬の食材「さつまいも」を使った簡単おやつ作りをしました。さつまいもをペースト状にしたものをビニールシートの上に絞り出すと、モンブランになります。小さいお子さんむけの、甘さ控えめの優しい味です。お子さん達がおもちゃで遊んでいる間に、お母さん達は楽しそうに、真剣に(?)作っていました。試食しながら、おやつレシピをお互いに紹介しあったりして、お話がはずんでいました。



毎日子育てに追われるお母さん達の、ささやかなティータイムになれたようです。

高郷地区

「高郷中学校生徒のボランティア活動」より

11月7日(木)「かたくり荘」へ高郷中学校生徒の皆さんが、ボランティア活動に来ていただきました。このボランティア活動は毎年続いており、館内の窓ガラスや床の拭き掃除をしたり、冬を向かえる準備として雪囲いのお手伝いをしていただきました。ありがとうございました。



「微笑みの国」から、
おもてなしの喜多方社協へ

～タイ王国の大学生との交流会～

福島県立医科大学看護学部林 正幸 教授が長年取り組んでおられる、タイ王国の支援活動の一環として、タイ王国コンケン大学で医学や看護学を学んでいる学生ら7名が、喜多方市を訪れ本協議会の中央デイサービスセンターで日本の介護サービスの研修を行いました。

武藤会長からの歓迎のあいさつと、デイサービスセンターの概要説明の後、デイサービスセンターの入浴設備などを熱心に見学されました。研修後には豪華な民族衣装に替えてデイサービスの利用者の皆さんの大きな拍手のなか、タイの伝統舞踊を披露し楽しませていただきました。

また、夜には本協議会の職員や地域の皆さんとともに岩月町の太田コミュニティセンターで懇親会を開催し、手作りの会津の郷土料理などでおもてなしをいたしました。

タイの学生の皆さんはお返しに、トムヤムクンなどの伝統料理を振る舞っていただきました。歌あり、踊りありの楽しいひと時を過ごしました。



平成25年度 除雪ボランティア事業 実施します!

一人暮らし高齢者の住宅等の除雪・排雪を行うことにより、除雪作業等の負担の軽減と、中学生、高校生や市民の皆さんのボランティア活動に対する理解を深めて頂くことを目的として、市内5地区で除雪ボランティア事業を実施いたします。

地 区	日 時	集合場所	参加申込、お問合せ先		
喜多方地区	2月8日(土) 8:30～11:30	市総合福祉センター	喜多方市社会福祉協議会 本所	0241-23-3231	
熱塩加納地区	2月1日(土) 8:40～11:30	保健福祉センター夢の森	喜多方市社会福祉協議会 熱塩加納支所	0241-36-3112	
塩川地区	2月8日(土) 8:40～11:30	保健福祉センターいきいきセンター	喜多方市社会福祉協議会 塩川支所	0241-27-3948	
山都地区	2月22日(土) 8:40～11:30	山都開発センター	喜多方市社会福祉協議会 山都支所	0241-38-3100	
高郷地区	2月22日(土) 9:00～11:30	高郷公民館	喜多方市社会福祉協議会 高郷支所	0241-44-7111	

※実施場所は、民生児童委員さんと協議し選定した高齢者世帯など数世帯の除雪・排雪の作業を行います。

※参加を希望される方は、ボランティア保険に加入しますので、事前(2日前まで)に参加される地区ごとにお申込みください。

主 催：喜多方市民生児童委員連合会・各地区民生児童委員協議会・喜多方市社会福祉協議会

～市民の皆さんより～

— vol.4 —



山都町 田代喜代志さん
(山都町民生児童委員協議会 会長)

近年における温暖化の影響と言われる地球規模での異常気象による様々な災害が発生している現状にあります。昨年7月には喜多方市の北部で局地的な豪雨に見舞われ、山都町川入地区、熱塩加納町地域において大きな被害を受けました。川入地区は唯一の道路、林道川入線が途中数箇所に亘り路体の決壊・崩落が発生し、通行が遮断され避難指示解除後も戻れない状況にあります。今後一日も早い道路の復旧が待たれます。

又、熱塩加納地区においては、下流側人家に泥水が流入、土砂が堆積する甚大な被害が発生しました。これらの復旧支援に向け市社会福祉協議会では災害ボランティアセンターを設置され、数日に亘り延262名が被災者住宅内外の土石排土、生活資材等の洗浄片付けの作業が行なわれました。

今後更に温暖化が進み、災害の発生が懸念される中、災害への備えとボランティア活動に繋がる体制作りの必要性を感じております。

陶芸教室開講のご案内

喜多方市社会福祉協議会 塩川支所・山都支所では、平成26年度陶芸教室の会員を募集します。

形や釉の創意工夫や指先に神経を集中しての制作や、仲間とおしの楽しいおしゃべりは、高齢者の生きがいと健康づくりにおおいに役立ちます。世界に一つだけの“名品”を作ってみませんか。



募集期間 平成26年2月1日 ～ 3月31日

開講期間 平成26年4月下旬～11月中旬

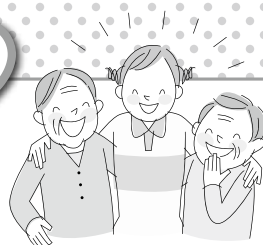
会員資格 概ね55歳以上で喜多方市在住の方

問合せ・申込みは下記までお願い致します。

喜多方市 塩川支所 ☎27-3948
社会福祉協議会 山都支所 ☎38-3100

“よらんしよネット”

喜多方市地域包括支援センターだより



元気を応援!!

あなたの街の
「喜多方市地域包括支援センター」
お気軽にご相談ください。TEL 0241-21-8856

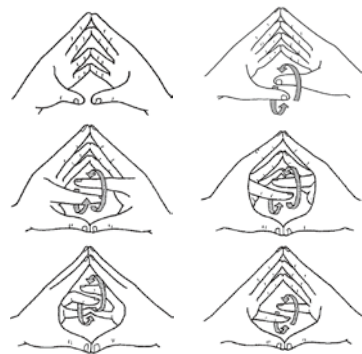
地域包括支援センターは、高齢者の方が住みなれた地域で安心して生活できるよう総合的に支えていくための拠点です。

行政、介護サービス事業所、病院などの関係機関と連携して困りごとの解決に努め、地域の高齢者や家族を支えます。

知って得する「脳トレ」

指まわし 認知症予防のための脳トレ4回目です。

- ① 両手をパーにします。
- ② 手のひらをくっつけます。
- ③ 指先だけをつけたまま手のひらを離し、親指の指先だけを離します。
- ④ 親指同士がさわらないように指を回します。
ただし、他の4本の指先は離れないようにします。
- ⑤ 同じように、人差し指、中指、薬指、小指の順番にやってみましょう。
☆それぞれの指を、前に10回後ろに10回位ずつ回してみましょう。



成年後見制度はみなさんの暮らしを守り、支援する制度です

認知症や知的障害、精神障害などの理由で判断能力が不十分な方は、不動産や預貯金などの財産管理や、介護・福祉サービスを利用するための手続きや契約などを結んだりすることが難しい場合があります。

また、自分に不利益な契約であっても判断できずに契約を結んでしまい、訪問販売や振り込み詐欺などの悪質商法の被害にあうおそれもあります。

このような判断能力の不十分な方の権利や生活を守り、支援するのが成年後見制度です。

成年後見制度には、法定後見制度と任意後見制度があります

法定後見制度とは？

現在すでに認知症や知的障害、精神障害などの理由で、判断能力が十分ではない方が対象になります。判断能力の程度に応じて、「後見」「保佐」「補助」の3つの制度に分かれます。支援の必要な方それぞれの状況に応じて、適切な支援をおこなう人を家庭裁判所が選びます。支援をおこなう人は、本人の親族以外にも、法律・福祉の専門家が選ばれることがあります。

任意後見制度とは？

将来、判断能力が不十分となった時に備えて、あらかじめ自分の後見人になってもらう人と公正証書で任意後見契約を結びます。本人の判断能力が不十分になった時に、任意後見契約に従って任意後見人が本人を支援する制度です。

福島家庭裁判所管内における昨年の成年後見申立数は369件でした。そのうち、後見280件、保佐29件、補助3件、任意後見4件の計316件が決定しています。(福島県社会福祉協議会 はあとふるふくしま 2013年11月号より)



成年後見制度についてのお問い合わせ
喜多方市地域包括支援センター 0241-21-8856
喜多方市役所高齢福祉課 0241-24-5230

平成25年度赤い羽根共同募金運動にご協力ありがとうございました

御 礼

市民の皆様におかれましては、ご健勝で新しい年をお迎えのこと心よりお喜び申し上げます。

平成二十五年度共同募金運動は「じぶんの町を良くするしくみ」をスローガンに十月から三ヶ月間全国一斉に展開され、市民一人ひとりの善意により、地域における社会福祉の充実を目標としてきました。今年度も赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金への皆様のお力添え、誠にありがとうございました。お寄せいただいた寄付金は、援助を必要としている方への激励や、社会福祉の増進のための地域活動等に配分されることとなっております。

今後も、ボランティア活動への積極的な支援や、住民相互のつながりを強化する事業の支援を通して、すべての市民の皆様が安心して暮らせる福祉社会づくりを推進してまいります。

皆様には、共同募金運動の趣旨をご理解いただき、地域のたすけあいの輪を広げるためのご支援とご協力を賜りましたことを深く御礼申し上げます。

平成二十六年二月

共同募金会喜多方市支会
喜多方市社会福祉協議会



地 区	赤い羽根共同募金	歳末たすけあい募金
喜 多 方 地 区	4,696,386円	2,203,761円
熱 塩 加 納 地 区	481,027円	565,500円
塩 川 地 区	2,243,466円	1,304,805円
山 都 地 区	814,235円	641,705円
高 郷 地 区	391,468円	340,000円
合 計	8,626,582円	5,055,771円

「協働による地域の福祉力向上事業」～公開セミナー～

『除雪ボランティアと地域のつながり』

少子高齢化の進行や災害への不安など様々な課題があるなかで、住み慣れた地域で安心して暮らしていくためには、地域の福祉力を高めていくことが大切です。その原動力として住民のチカラに大きな期待が寄せられており、普段から地域の絆や人と人とのつながりを深めるためには皆さん、一人ひとりの参加とチカラが必要です。

本セミナーは地域の特色を活かし、自分たちが考える、支え合いの地域づくりを目指して開催しますので、皆さんのご参加をお待ちしています。

日 時 平成26年2月24日(月) 13:30～15:30

場 所 喜多方市総合福祉センター2階 多目的ホール

参加対象者 ボランティア活動や地域の活動に興味、
関心のある方などどなたでも参加できます。

講演内容 『除雪ボランティアと地域のつながり』

講 師 金山町社会福祉協議会 事務局長 加藤 ゆき 氏

そ の 他 申込み不要、入場無料です。



主 催 : 福島県社会福祉協議会 共 催: 喜多方市社会福祉協議会

平成26年度

喜多方市高齢者
生産活動センター

新会員募集お知らせ

【募集期間】平成26年3月1日～3月31日

【募集人員】各グループ 10名程度

【募集資格】市内在住者 概ね60歳以上

【費用】年会費及び材料費

☆陶芸グループ(週2回)

(1班は火・木曜日、2班は水・金曜日)

地元「宮津の粘土」や流紋、笠間、志野粘土などを使って花器や茶碗、皿などを作陶し、販売しています。

☆手芸グループ(毎週火曜日)

藤・編み物・バッグ・パッチワーク・起き上がり小法師などを製作し販売しています。

☆押し花絵グループ(月2回程度 金曜日)

乾燥花々の押し花で、葉や額絵、ブローチ、絵ローソクなどを製作し販売しています。

☆織物グループ(毎週木曜日)

卓上織り機を使ってマフラー・コースター・テーブルセンター・バックなどを製作し販売しています。

☆園芸グループ(毎週火・木曜日)

圃場や温室で花木を栽培し、販売をしています。

☆菌茸グループ(春から秋の40日程度)

椎茸栽培で、原木の菌打ち作業や生椎茸・乾燥スライス加工などをして販売しています。

☆わら工芸グループ(10月から12月を中心とした50日程度)

わらや菅を使って、注連縄や玄関飾りを製作し販売しています。

グループ活動には、生産活動センターまつり、各種イベントへの出展や、販売活動・体験教室などもあります。

※会費等は各グループにより異なりますので、詳細については下記までお問い合わせ下さい。

【問合せ、申込み先】

喜多方市岩月町宮津字火付沢3567-1

喜多方市高齢者生産活動センター

電話 0241-24-2297



送迎バス(無料)

◎行き 活動センター発(8:45)→①北町郵便局前→②出雲神社前
→③リオンドール仲町店前→④市役所前→⑤三万石前
→⑥図書館前→⑦喜多方駅(9:10)→⑧FMきたかた前→⑨松山ローソン前
→⑩コメリ松山店前→⑪北町公園前→⑫岩月農協倉庫前→活動センター着(9:45)

◎帰り 活動センター発(15:10)→行きと逆コース
※曜日により多少コースが変更になることがあります。

今年もありがとうございました

一市民さんからの善意と 素敵なお手紙を紹介します

喜多方市社会福祉協議会には『一市民』さんより、毎年素敵なお手紙と善意の寄付が届けられています。

直接御礼を申し上げることはできませんが、『一市民』さんの思いに応えられるよう、役職員一丸となって地域福祉向上のため頑張っています。今年もありがとうございました。

すっかり日も短くなり、朝夕寒くなりましたね。
職員の皆様、常日頃お勤めご苦勞さまです。
今年も天変地異の恐怖と戦いながら過ごしております。
お蔭様で今年も元気に暮らせました。
贅沢は健康の敵ですので、最低限度の生活をし、栄養面では十分に気を付けて、また一つ歳を重ねました。
大変な時代ですので、ご苦勞をかけると思いますが、なんせ、今日の日本の基礎を築いてこられたご高齢者の方々の面倒をみていって下さい。
やがては辿る道と思つてご指導願います。
年金の中から僅かですが送ります。何かに活用して下さい。よろしく願います。
時節柄、職員の皆様、ご自愛の程願います。

平成25年10月28日 一市民より

ご寄付ありがとうございました

お寄せいただいた寄付金は、地域福祉向上のため大切に役立てさせていただきます。
(平成25年10月1日～12月31日受付分)

一般寄付

喜多方地区

・一市民 奈須 利夫

・岩月町下台 東條 誠

・昭電喜多方昭寿会 代表

・岩月町下台 山本 豪

・桜町 小椋 正次

・松山町村松二区 唐橋 秀子

・会津喜多方商工会議所女性会 (お手玉の寄贈)

・熱塩加納地区 岩下 幸一

・半在家

・塩川地区 匿名

ご遺志による寄付

喜多方地区

・豊川町長尾 須田 寛

・寺町一区 五十嵐隆徳

・西四ツ谷 菊地 安子

・東四ツ谷 藤本 容子

・豊川町高吉一区 小椋 久子

・塗物町 渡部 和男

・慶徳町新宮 大竹 利光

・慶徳町新宮 鷗川 利一

・東ひばりが丘 樋口 教子

・上三宮町譲屋 大塚 金悦

・上三宮町岩沢 清水喜代次

・関柴町上高瀬 田中 広之

・南桜が丘 遠藤 幹雄

・熊倉町熊倉下 山口 一孝

・熊倉町吉沢 高橋 厚

・松山町村松第一区 唐橋 信雄

一般寄付

喜多方地区

・慶徳町真木 高畑 雄一

・松山町飯田 田中 和弘

・熊倉町辻 唐橋 祐光

・慶徳町新宮 山口 孝信

・関柴町西中明 菊地 清

・慶徳町新宮 田部 成浩

・松山町清水台 渡部 俊男

・塗物町 岩橋 甫

・幸町 小川 修一

・新道 高橋松二郎

・埼玉県さいたま市 坂内 正信

・関柴町上高瀬 田中 幸悦

・菅原町 五十嵐 幸一

・岩月町下台 小樽山 一男

・東京都あきる野市 清水 俊仁

・関柴町平林 渡部 大

・桜町 清水 信子

・上三宮町見頃 佐瀬 喜仁

・熊倉町獅子沢 堀 英次郎

・豊川町高吉一区 佐藤 源一

・下町南部 長澤喜代志

・熊倉町小沼 小池 アイ

・菅原町 神田ひとみ

・東四ツ谷 田澤 徳

・上三宮町譲屋 古山 敏

・北町 東條 新一

・松山町百目二貫分 大房 均

・慶徳町新宮 都倉 浩二

・上三宮町見頃 澤田 貴也

・上三宮町上三宮一区 高橋 政次

・熊倉町熊倉下 猪俣 美行

・東四ツ谷 豊川町太田 苗村 悦雄

・上三宮町上三宮一区 小原 裕之

・埼玉県さいたま市 塩原 富雄

・埼玉県さいたま市 富山慎太郎

一般寄付

喜多方地区

・岩月町下岩崎 小枝百合子

・豊川町綾金 佐藤昭一郎

・熊倉町熊倉下 熊倉町熊倉下

・東桜が丘 安部 一夫

・御清水 小川 栄子

・岩月町治里 穴澤 明

・豊川町一ノ堰一区 佐藤 善之

・関柴町上高瀬 高橋 芳一

・慶徳町山崎 永澤 昭憲

・熊倉町小沼 小澤 清昭

・松山町村松二区 上野 潤一

・熱塩加納地区 渡部 正一

・宇津野 遠藤 昭宏

・半在家 原 光喜

・会津若松市 鈴木 清市

・赤崎 瓜生 清一

・板の沢 田中 三成

・半在家 猪俣 忠

・鷺田 瓜生ヒサ子

・大沢 高橋 賢作

・金川 小滝 敏

・田原 佐藤 良一

・下利根川 小澤 善文

・上利根川 大竹 寿吉

・新井田 酒井 政明

・13区 佐藤 實

・反田 白井 一徳

・中道地 遠藤 常子

・源太 平田 光城

・松崎 蒲生 勝巳

・3区 鈴木 宏昌

・高木 入岡 幸男

一般寄付

喜多方地区

・岩月町下岩崎 田中 高木

・豊川町綾金 佐藤昭一郎

・熊倉町熊倉下 熊倉町熊倉下

・東桜が丘 安部 一夫

・御清水 小川 栄子

・岩月町治里 穴澤 明

・豊川町一ノ堰一区 佐藤 善之

・関柴町上高瀬 高橋 芳一

・慶徳町山崎 永澤 昭憲

・熊倉町小沼 小澤 清昭

・松山町村松二区 上野 潤一

・熱塩加納地区 渡部 正一

・宇津野 遠藤 昭宏

・半在家 原 光喜

・会津若松市 鈴木 清市

・赤崎 瓜生 清一

・板の沢 田中 三成

・半在家 猪俣 忠

・鷺田 瓜生ヒサ子

・大沢 高橋 賢作

・金川 小滝 敏

・田原 佐藤 良一

・下利根川 小澤 善文

・上利根川 大竹 寿吉

・新井田 酒井 政明

・13区 佐藤 實

・反田 白井 一徳

・中道地 遠藤 常子

・源太 平田 光城

・松崎 蒲生 勝巳

・3区 鈴木 宏昌

・高木 入岡 幸男

一般寄付

喜多方地区

・岩月町下岩崎 田中 高木

・豊川町綾金 佐藤昭一郎

・熊倉町熊倉下 熊倉町熊倉下

・東桜が丘 安部 一夫

・御清水 小川 栄子

・岩月町治里 穴澤 明

・豊川町一ノ堰一区 佐藤 善之

・関柴町上高瀬 高橋 芳一

・慶徳町山崎 永澤 昭憲

・熊倉町小沼 小澤 清昭

・松山町村松二区 上野 潤一

・熱塩加納地区 渡部 正一

・宇津野 遠藤 昭宏

・半在家 原 光喜

・会津若松市 鈴木 清市

・赤崎 瓜生 清一

・板の沢 田中 三成

・半在家 猪俣 忠

・鷺田 瓜生ヒサ子

・大沢 高橋 賢作

・金川 小滝 敏

・田原 佐藤 良一

・下利根川 小澤 善文

・上利根川 大竹 寿吉

・新井田 酒井 政明

・13区 佐藤 實

・反田 白井 一徳

・中道地 遠藤 常子

・源太 平田 光城

・松崎 蒲生 勝巳

・3区 鈴木 宏昌

・高木 入岡 幸男

一般寄付

喜多方地区

・岩月町下岩崎 田中 高木

・豊川町綾金 佐藤昭一郎

・熊倉町熊倉下 熊倉町熊倉下

・東桜が丘 安部 一夫

・御清水 小川 栄子

・岩月町治里 穴澤 明

・豊川町一ノ堰一区 佐藤 善之

・関柴町上高瀬 高橋 芳一

・慶徳町山崎 永澤 昭憲

・熊倉町小沼 小澤 清昭

・松山町村松二区 上野 潤一

・熱塩加納地区 渡部 正一

・宇津野 遠藤 昭宏

・半在家 原 光喜

・会津若松市 鈴木 清市

・赤崎 瓜生 清一

・板の沢 田中 三成

・半在家 猪俣 忠

・鷺田 瓜生ヒサ子

・大沢 高橋 賢作

・金川 小滝 敏

・田原 佐藤 良一

・下利根川 小澤 善文

・上利根川 大竹 寿吉

・新井田 酒井 政明

・13区 佐藤 實

・反田 白井 一徳

・中道地 遠藤 常子

・源太 平田 光城

・松崎 蒲生 勝巳

・3区 鈴木 宏昌

・高木 入岡 幸男

一般寄付

喜多方地区

・岩月町下岩崎 田中 高木

・豊川町綾金 佐藤昭一郎

・熊倉町熊倉下 熊倉町熊倉下

・東桜が丘 安部 一夫

・御清水 小川 栄子

・岩月町治里 穴澤 明

・豊川町一ノ堰一区 佐藤 善之

・関柴町上高瀬 高橋 芳一

・慶徳町山崎 永澤 昭憲

・熊倉町小沼 小澤 清昭

・松山町村松二区 上野 潤一

・熱塩加納地区 渡部 正一

・宇津野 遠藤 昭宏

・半在家 原 光喜

・会津若松市 鈴木 清市

・赤崎 瓜生 清一

・板の沢 田中 三成

・半在家 猪俣 忠

・鷺田 瓜生ヒサ子

・大沢 高橋 賢作

・金川 小滝 敏

・田原 佐藤 良一

・下利根川 小澤 善文

・上利根川 大竹 寿吉

・新井田 酒井 政明

・13区 佐藤 實

・反田 白井 一徳

・中道地 遠藤 常子

・源太 平田 光城

・松崎 蒲生 勝巳

・3区 鈴木 宏昌

・高木 入岡 幸男

一般寄付

喜多方地区

・岩月町下岩崎 田中 高木

・豊川町綾金 佐藤昭一郎

・熊倉町熊倉下 熊倉町熊倉下

・東桜が丘 安部 一夫

・御清水 小川 栄子

・岩月町治里 穴澤 明

・豊川町一ノ堰一区 佐藤 善之

・関柴町上高瀬 高橋 芳一

あなたの悩みに 寄り添いお手伝いいたします

要介護の認定を受けて
サービスを利用したいけれど
どうすればいいの？

こんな悩みはありませんか？

そんな時は居宅介護支援事業所に
ご相談下さい。

それぞれの居宅介護支援事業所では専門の資格を持ったケアマネジャーが、相談者のお話を聞きながらその方にあった介護のサービスを一緒に考えていきます。

また、利用を希望される「サービス事業所」と連絡調整を行い、適切なサービスが受けられるように支援いたします。

喜多方市社会福祉協議会でも、次のような事業を行っています。
どうぞご利用下さい。

デイサービスセンター

日帰りで、入浴・食事・必要な介護・レクリエーションなどのサービスが受けられます。ご自宅から送迎いたします。



中央デイサービスセンター	0241-23-0346
夢の森デイサービスセンター	0241-36-3112
塩川デイサービスセンター	0241-28-1255
山都デイサービスセンター	0241-38-3007
高郷デイサービスセンター	0241-44-7111

ヘルパーセンター

ご自宅に伺いご本人のできない部分をお手伝いします。主なものとして着替え・食事・入浴・排泄などの身体介護、掃除・洗濯・調理などの家事援助等があります。



喜多方ヘルパーセンター	0241-23-3231
塩川ヘルパーセンター	0241-28-1254
高郷ヘルパーセンター	0241-44-7111

(熱塩加納町、山都町の方は最寄りのヘルパーセンターにご連絡ください。)

訪問入浴

ご自宅の浴槽で入浴がむずかしい方に対し、看護師等の専門スタッフがご自宅を訪問し、移動式のお風呂をお部屋に設置して入浴していただくサービスです。



訪問入浴介護事業所
0241-23-0346

ケアプランセンター (居宅介護支援事業所)

喜多方ケアプランセンター	0241-21-8920
熱塩加納ケアプランセンター	0241-36-3112
塩川ケアプランセンター	0241-28-1253
山都ケアプランセンター	0241-38-3139

(高郷町の方は最寄りのケアプランセンターにお電話ください。)



“みんながいるから元気になれる” お気軽にお問い合わせください。



※きたかた社協だよりの作成経費として、社協会員会費及び共同募金配分金を活用させていただいております。